



— 自然免疫と健康維持 —

LSINは、特定非営利活動法人 環瀬戸内自然免疫ネットワーク(Nonprofit Organization Linking Setouchi Innate immune Network)の略であり、平成13年に設立された自然免疫賦活技術研究会を母体として、平成18年3月22日に設立されたNPO法人です。詳しくは <http://www.lsin.org> をご覧ください!!

— 第41回自然免疫賦活技術研究会開催される —

平成24年6月15日(金)、サンメッセ香川(香川県高松市)にて第41回自然免疫賦活技術研究会が開催されました。



今回の研究会では、四国経済産業局より「先端技術実証・評価設備整備費等補助金」に関するご紹介と、四国電力管内における今夏の節電についてご説明頂きました。また、独立行政法人産業技術総合研究所四国センターからは「消費者庁『食品の機能性評価モデル事業』の結果公表」に関してご報告頂きました。一方、香川県からは、平成24年度健康関連産業創出支援事業補助金及び「先端技術成果実用化支援事業補助金」の概要をご紹介頂き、四国産業技術振興センターより、自然免疫グループについての概要やこれまでの歩みと展望などをご発表頂きました。



教育講演では、香川県医学部統合免疫システム学講座 准教授/自然免疫応用技研株式会社 取締役 稲川 裕之氏より「マクロファージとLPSのはなし スペシャル」と題して、マクロファージと糖脂質(LPS)の最近の一般認識についてご講演頂きました。免疫分野におけるマクロファージやLPSの認識は、近年の研究結果によって一変し、現代では有用性に目が向けられるようになりました。そのような中で、本講演はマクロファージとLPSの有用性を再考するよい機会となりました。



本号のニュース

- ・第41回自然免疫賦活技術研究会の開催
- ・連携協定書の締結について
- ・平成24年度における健康支援食品に関する取り組みについて～続報～
- ・福岡事務所の設置
- ・自然免疫賦活技術研究会 会員企業紹介

— 目次 —

- ・第41回自然免疫賦活技術研究会開催される 1
- ・連携協定書の締結について 1
- ・平成24年度における健康支援食品に関する取り組みについて 2
- ・福岡事務所を設置しました 2
- ・自然免疫賦活技術研究会 会員企業紹介
第17回 株式会社 イマージュ 3
- ・第1回自然免疫制御セミナー開催について 3
- ・ひげ博士のホットレポートー最新免疫学講座ー 4
- ・LSIN会員募集 4
- ・編集後記 4

連携協定書の締結について

平成24年8月3日に、LSINと健康保険人吉総合病院は連携協定書を締結しました。すでに連携協定書を締結している財団法人三宅医学研究所附属セントラルパーククリニック(香川県高松市)、社会医療法人喜悦会那珂川病院(福岡県福岡市)について3件目となります。

健康保険人吉総合病院は、熊本県南部の人吉市に位置し、明治11年にその前身である人吉公立病院が設立され、昭和22年に現在の名称となりました。その後昭和33年に社団法人全

国社会保険協会連合会に経営が移管され現在に至っています。平成17年に地域医療支援病院、平成19年には、地域がん診療連携拠点病院に指定されている274床の人吉・球磨地方の拠点病院です。

健康保険人吉総合病院は、今後LSINが行う効果実証試験の実施医療機関のひとつとして他の連携医療機関と協力しながら、試験を実施していきます。

平成24年度における健康支援食品に関する取り組み～続報～

～ LSINの効果実証試験システムを活用した地域ブランド認証システムに関する事業が、日本立地センターのモデル事業としてスタート ～

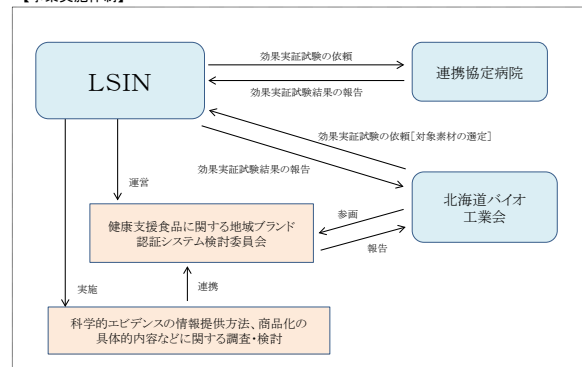
LSINが四国産業・技術振興センター（STEP）と連携して平成23年度から進めています「健康支援食品」(*)に関する取り組みについては、このほど、日本立地センターが経済産業省「地域新成長産業創出促進事業費補助金」の助成を得て実施する、「地域間連携促進等事業」のモデル事業「科学的エビデンスに基づく地域ブランド認証システム構築モデル事業」としてスタートしました。

このモデル事業は、他地域と連携した優れた取り組みを促進し、新たな事業活動を全国的に展開することを支援するもので、北海道内のバイオ関連企業等からなる「一般社団法人北海道バイオ工業会」が選定した食品素材について、LSINの効果実証試験システムを活用して科学的エビデンスを明らかにするとともに、その結果を活用して、地域ブランド認証システムの構築と地域企業の製品・高付加価値化を促進するモデルを実証することを目指しています。

計画されている具体的な事業内容、実施体制は以下のとおりで、現在、効果実証試験の実実施計画の作成などが進められています。

- 効果実証試験の実施
 - ・北海道バイオ工業会が選定された食品素材について、効果実証試験を実施し、科学的エビデンスを収集する。
- 効果実証試験で得られた科学的エビデンス活用方法の検討
 - ・上記効果実証試験によって得られた科学的エビデンス

【事業実施体制】



について、地域ブランド認証事業における活用方法、ならびに消費者への情報提供のあり方などを検討する。

- 科学的エビデンスを活用した地域ブランド認証システムの構築
 - ・効果実証試験結果を活用した商品化の具体的内容（デザイン、表示方法、表示内容等）を提案するとともに、他地域に導入するためのマニュアルを作成する。

※健康支援食品について

- ・STEPが平成23年度にとりまとめた報告書「地域機能性素材を活用した食品開発促進システム実証モデル事業」において、機能性に一定のエビデンスがあり、確認機関に届けられた食品を「健康支援食品」と呼んでいます。

福岡事務所を設置しましたーバイオ治療法研究会・効果実証試験の拠点ー

NPO法人環瀬戸内自然免疫ネットワーク（LSIN）は、平成24年4月1日付けで、福岡市に事務所を開設しました。徳島市、高松市に続き、3番目の事務所となります。

【名称】NPO法人環瀬戸内自然免疫ネットワーク福岡事務所
【住所】福岡県福岡市城南区七隈七丁目45番1号（福岡大学医学部生化学教室内）

福岡事務所は、今年度より当法人が運営することになりました『バイオ治療法研究会』※の事務局として、また、社会医療法人喜悦会 那珂川病院（連携医療機関）における、食品や化粧品の有効性を検証する効果実証試験の拠点として設置しました。

今後、本事務所において機動的に活動を行い、事業内容の充実を図るとともに、広範囲の方々に自然免疫賦活技術に対

する知識を深めていただけるよう、取り組んでまいります。

※バイオ治療法研究会とは

平成9年発足。会長は朝長正道（福岡大学医学部名誉教授、財団法人臨床研究奨励基金専務理事）。

活動内容は、①学術集会の開催（年1回）、②発表論文の紀要発行、③会員間との研究協力推進、④企業との連携協力推進です。

バイオ治療法分野に興味をもつ基礎研究者および臨床医学者に討論の場を提供し、癌や免疫病などの難病に対するバイオ治療法の益々の実用化をはかり、もって本分野の発展に寄与することを目的としています。

株式会社 イマージュ **IMAGE**

株式会社イマージュは、ファッション通販マガジン『IMAGE』をはじめとした、衣料品、趣味・家庭用品等のカタログ通信販売事業を中心に、女性のおしゃれやライフスタイルに密着したさまざまな事業を展開しております。また、これまで培ってきた通販ノウハウやインフラを武器にした中国への販路拡大、ソリューションビジネスへの進出など、常に新たなビジネスの可能性も追求しております。

平成23年にJコンテンツ事業部を新たに立ち上げ、“Japan Quality ～日本の良いものを世界へ！～”をスローガンに、女性のキレイを応援する商品の企画・販売をスタートいたしました。取り扱い商品の全てが、安心の日本製にこだわっております。

Jコンテンツ事業部では、昨年発売したヘアケア商品に続き、本年10月1日、スキンケア化粧品「PHYTOLIFT(フィトリフト)」を発売いたします。「フィトリフト」は、柚先生ならびに自然免疫応用技研様ご協力の下、Somacyの原料をホワイトソルガム(白たかきび)に変更した「フィト発酵エキス(ホワイトソルガム発酵抽出物)」を開発・配合した、年齢肌のシワ・たるみに働きかける高機能エイジングケア化粧品です。

実は、この化粧品の開発にあたり、試作を重ねる中で、開発に携わった数多くの女性社員が、肌の調子が良くなったことを実感しています。ある社員は、アトピー特有の赤みやごわつきが取れて、つるんとひと皮剥けたようになり、またニキビに悩んでいた別の社員は、吹き出物のトラブルが出にくくなり、健康的なツヤ肌になりました。社員一同、自信を持ってお客様におすすめできる商品が完成したと、自負しております。



弊社は、この自信作「フィトリフト」を、少しでも多くの女性に使っていただけるよう、積極的に販売展開して参ります。

<HP>

■植物から見つけたプラセンタ以上の実力 PHYTOLIFT
<http://www.phytolift.jp>

第1回自然免疫制御セミナー開催について

自然免疫制御技術研究組合主催のセミナーが、以下の要領で開催されます。

昨年11月には東京商工会議所で、シンポジウム「自然免疫、その新展開」と題し、この分野の著名な先生方に学術的な講演をしていただき、好評を博したのですが、一般の方々からは、内容が難しかったとの意見も寄せられています。

そこで今回は、一般の方を対象にしたセミナーを開催することになりました。そのため、自然免疫の自然治癒力アップに対する効果や、自然免疫に作用する植物発酵糖脂質の生活習慣病や、アレルギーに対する役割を容易にご理解いただける内容の講演となっています。

皆さんお誘い合わせのうえ、お気楽にご参加下さい。

<第1回自然免疫制御セミナー 開催要領>

【日時】平成24年9月19日(水)14:00~16:25(開場13:30)

【場所】キャンパス・イノベーションセンター東京
 (東京都港区芝浦3-3-6, JR山手線・京浜東北線 田町駅から徒歩1分)

【お申し込み方法】所定の申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX(087-867-7712)またはメール(cittra@shizenmeneki.org)にてお申し込みください。申込用紙は、自然免疫制御技術研究組合のホームページよりダウンロードしてください。

ホームページアドレスは、以下になります。

<http://shizenmeneki.org>

第1回
自然免疫制御セミナー
 ~植物発酵糖脂質の応用-自然免疫による自然治癒力アップ~

生半かたと思われつつも、実は「自然免疫」を上手に活用する方法をお伝えします。病気にかかりにくい作り方を目標にしましょう!!

日時 平成24年9月19日(水)14:00~16:25 (13:30受付開始)
 会場 キャンパス・イノベーションセンター東京
 (東京都港区芝浦3-3-6, JR山手線・京浜東北線 田町駅から徒歩1分)
 参加費 (定員:先着100名様)
 無料(定員いっぱいプログラム)

14:00~14:05	開会挨拶	香川大学医学部総合免疫システム学専任講師 香島教授 自然免疫制御技術研究組合 代表理事 柚 一 郎
14:05~15:05	講演 (前半の部)	「自然免疫-マクロファージ-糖脂質」 柚 一 郎 (香川大学医学部総合免疫システム学専任講師 香島教授 / 自然免疫制御技術研究組合 代表理事) 福川 裕之 (香川大学医学部 客員准教授)
15:05~15:20	休憩	
15:20~16:20	講演 (後半の部)	「環境中LPSと腸内菌叢」 高松 智 (自然免疫制御技術研究会 機能性食品部会長) 「糖脂質の代謝への応用」 河内 千恵 (香川大学医学部 客員准教授) 「糖脂質の応用例について効果実証」 中田 和江 (岡山県立大学保健福祉学部 助教・管理栄養士)
16:20~16:25	閉会挨拶	自然免疫賦活技術研究会 機能性食品部会長 高松 智

主催 香川大学医学部総合免疫システム学専任講師、自然免疫制御技術研究組合
 共催 自然免疫制御技術研究組合 (NCC) (NCC) 事務局 自然免疫制御技術研究組合
 ◆問い合わせ先◆
 〒761-8501 香川県高松市林町217-44 ネット・香川301 自然免疫制御技術(株) 内
 自然免疫制御技術研究組合(中心) TEL:087967-7712 FAX:087967-7717

皆さん。ひげ博士じゃ。がんを体から排除するには、最強の免疫細胞である細胞傷害性T細胞(CTL)を誘導できればしめたものじゃ。

CTLは特異的にがん細胞を殺す事が出来るのじゃが、そのためには、いわゆるがん免疫を誘導する必要があるのじゃ。がん免疫の原点はといえば、自然免疫が、がんを異物として認識して処理することにある。そこから異物情報がT細胞やB細胞に渡され、がん免疫が誘導されるのじゃ。その詳しいメカニズムがわかっていなかったが、最近の論文*で、ナチュラルキラー細胞とマクロファージの共同作業が重要なことが示されたので、皆さんに紹介しよう。

T細胞もB細胞もない免疫不全マウス(RAG欠損)と、さらにNK細胞もない重度免疫不全マウス(RAGとIL-2 γ 鎖欠損)にがん細胞(メチルコラントレン誘導)を移植することでNK細胞の役割が見えて来たのじゃ。NK細胞がインターフェロン γ でマクロファージを活性化し、がんを攻撃するマクロファージ(M1型)とがん抗原提示マクロファージを誘導するということじゃ。NK細胞とマクロファージが、強力な自然免疫の共同戦線を作ることで、がん免疫を誘導することが出来る、いわば戦友ということじゃな。

*: Journal of Experimental Medicine, 2012, Aug 27 PMID 22927549



こちらは単なる酔っぱらい

LSIN会員募集

LSINでは会員を募集しています。LSINの活動に賛同していただける方であれば、どなたでも入会できます。

●入会金・年会費一覧

入会を希望される方は、以下の入会手続きをご参考ください。

(1)ホームページからの入会手続き

下記のURLにアクセスし、ホームページ内の「入会のご案内」→「入会申込フォーム」に必要事項を明記の上、お申込ください。

LSIN URL : <http://www.lsin.org>

(2)郵送またはFAXによる入会手続き

「入会申込書」をLSIN事務局まで郵送あるいはFAXでご請求下さい。

「入会申込書」に必要事項を明記の上、事務局まで郵送あるいはFAXにて送付ください。

「入会申込書」の下部に記載している振込先へ、入会金・年会費をお振込ください。

事務局から「入会手続き完了」の連絡をお送りします。

※「入会手続き完了」のご連絡は、事務局にて入会申込書と入金を照合し、入会手続きが完了した時点でお送りします。

入会申込書の送付と入会金・年会費のお振込完了後、2週間を過ぎても連絡がない場合は、お手数ですが事務局までお問い合わせください。

入会金			年会費		
正会員	個人会員	10,000円	正会員	個人会員	10,000円
	企業会員	30,000円		企業会員	50,000円
賛助会員	個人会員	10,000円	賛助会員	個人会員	10,000円
	企業会員	30,000円		企業会員	50,000円
モニター会員	入会金なし		モニター会員	年会費なし	

〒761-0301 香川県高松市林町2217-16
FROM香川バイオ研究室

特定非営利活動法人 環瀬戸内自然免疫ネットワーク

TEL:087-813-9201 FAX:087-813-9203

(MOBILE:090-2783-5885)

E-mail: npolsinlsin@lsin.org URL: <http://www.lsin.org>

編集後記

LSIN会員の皆様、ニュースレターNo.20をお届けします。

本号ではニュースレターNo.19に引き続き、「地域間連携促進等事業」のモデル事業の続報をお伝えしています。

今回は、一般社団法人北海道バイオ工業会の選定した食品素材についてLSINで効果実証試験を行い、科学的エビデンスを明らかにすることで、地域素材のブランド化と高付加価値化を促進するモデルを実証することを目指します。

またLSINでは、4月に3ヶ所目となる福岡事務所を開設しました。さらに8月には、熊本県の健康保険人吉総合病院と、こちらも3件目となる連携協定書を締結しました。これにより広域での連携を行うことが可能となり、これまでより大人数での効果実証試験を行うことが可能となります。

最後になりますが、お忙しい中、原稿をご執筆いただいた方々、編集委員の皆様にご心より厚くお礼申し上げます。

編集長 中本 尊

LSIN事務局

LSINニュースレター編集委員

編集長 中本 尊 編集員 稲川裕之 中本優子 谷口芳枝

平成24年9月14日発行